

町政を問う

我慢の末、財政健全化にメド！ さあ！ 次は何をするの？

篠原 今後の財政運営の目標を、一



耐震化の進む学校施設（溝口小）

篠原 民間資金活用型の町営住宅建設は、民間資金活用型？

篠原 後期計画全般の優先順位の中で、初年度にあたる現時点では、まだ着手していない。次年度以降、他自治体の取り組み状況の調査など含め検討をスタートしたい。

篠原 次年度以降そのように取り組みたい。

地の選定、町内各地域における民間賃貸住宅の需給バランスの現状分析の他、手法としてPFI方式の妥当性も含め、総合的な検討をお願いする。

篠原 財政面での危惧は完全に払拭できたと考えるか？

町長 財政状況は、危機的状況は回避したもの、成果は充分ではなく、財政負担を伴う新規事業に大きく踏み出す状況にはない。今後とも、必要な投資を行いつつ、借金残高は現状レベルを維持すべきであり、また、基金の残高は、近隣自治体も含め他自治体と比較すると未だ低いレベルにある。今後とも、税負担に見合った行政サービスの維持を念頭に、余力がでれば基金の積み増しと借金残高の圧縮を目指す。



篠原 天

町長 一定の数値に縛られると、財政運営の硬直化を招く恐れもあり、あくまで、一定の目安という前提で、個人的には、本町の標準財政規模に対し、財政調整基金・減債基金といった取り崩し型

篠原 財政健全化を最優先に、緊急措置として継続している職員給与、特別職報酬のカットを、健全化指標クリアを契機に見直す考えはあるか？

町長 人事院勧告の内容、他団体とのラスパイレス指数の比較等、さまざまなデータを参考に、町民目線から見た妥当性も念頭に、今後、総合的に判断していく。



町営住宅の今後は…

財政健全化指標クリアしたが、次は何を目指す？

町長 学校施設耐震化・防災力強化を中心
に安全安心のまちづくりに注力。

篠原 建設目的に応じた建設立